



1. 化学物質等及び会社情報

製品名(化学名、商品名等)	: KRS-5
会社名	: 日本分光株式会社
住所	: 192-8537東京都八王子市石川町2967-5
担当部門	: 品質保証部品質課
電話番号	: 042-646-4111
FAX番号	: 042-646-4126
製品コード	:
整理番号(SDS No.)	: 0728-03
作成日	: 2001年3月1日 (改定)2023年4月28日

2. 危険有害性の要約

GHS分類区分 記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

物理化学的危険性 :

健康有害性 : 急性毒性(経口): 区分 2
急性毒性(吸入): 区分 2
特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2

環境有害性 : 水生環境有害性 短期(急性): 区分 2
水生環境有害性 長期(慢性): 区分 2

オゾン層への有害性 :

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 飲み込むと生命に危険
吸入すると生命に危険
長年にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き [安全対策] : 環境への放出を避けること。
粉じんを吸入しないこと。
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
取扱後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

注意書き [応急措置] : 漏出物を回収すること。
特別な処置が緊急に必要である。
特別な処置が必要である。
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
直ちに医師に連絡すること。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
口をすすぐこと。
飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名	: 臭化タリウム CAS No.7789-40-4、45.7%含有、化審法番号1-1168 ヨウ化タリウム CAS No.7790-30-9、54.3%含有、化審法番号1-1169
危険有害成分	: 安衛法「表示すべき有害物」該当成分:ヨウ化タリウム 安衛法「通知すべき有害物」該当成分:ヨウ化タリウム 化管法(令和5年4月1日施行)「第1種指定化学物質」該当成分:臭化タリウム,ヨウ化タリウム

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。 直ちに医師に連絡すること。
急性症状および遅発性症状の最も重要な徴候または症状	: 徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
医師に対する特別な注意事項	: 特別な処置が緊急に必要である。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。 この製品自体は燃焼しない。
使ってはならない消火剤	: 情報なし
特有の危険有害性	: 火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。 強熱されると昇華するため、消火作業時は必ず保護具を着用する。
特有の消火方法	: 関係者以外は安全な場所に退去させる。 安全に対処できるならば、製品容器を火災危険区域から移動すること。 消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	: 防火服又は防災服を着用すること。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	: 関係者以外は近づけない。 回収が終わるまで十分な換気を行う。 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	: 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。 下水、排水中に流してはならない。
封じ込めおよび浄化方法・機材	: 掃き集めて、容器に回収する。 回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。
二次災害の防止策	: 漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 取扱者のばく露防止 : 粉じんを吸入しないこと。
- 局所排気・全体換気 : 排気/換気設備を設ける。

- 注意事項 : 皮膚に触れないようにする。
: 眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項(接触回避等)

- : 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- : 指定された個人用保護具を使用すること。

- 衛生対策 : 眼、皮膚、衣類につけないこと。
: 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
: 取扱い後はよく手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
: 施錠して保管すること。
: 乾燥した場所に保管すること。

- 安全な容器包装材料 : 情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

- 許容濃度 : 日本産衛学会の許容濃度データなし
(臭化タリウム)
ACGIH(2010) TWA: 0.02 mg-Tl/m³(I) (胃腸損傷; 末梢神経障害)
(ヨウ化タリウム)
ACGIH(2008) TWA: (0.01ppm(IFV));
: STEL: (0.1ppm(V)) (甲状腺機能低下症; 上気道刺激)
ACGIH(2010) TWA: 0.02 mg-Tl/m³(I) (胃腸損傷; 末梢神経障害)
特記事項
(臭化タリウム)皮膚吸収
(ヨウ化タリウム)皮膚吸収

- 設備対策 : 排気/換気設備を設ける。
: 洗眼設備を設ける。
: 手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

- 呼吸用保護具 : 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
- 手の保護具 : 保護手袋を着用する。推奨材質：非浸透性もしくは耐化学品ゴム
- 眼の保護具 : 側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を着用する。(長袖保護衣、長靴、前掛け、アームカバー等)

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
色	: 赤褐色
臭い	: 情報なし
融点・凝固点	: 414.5°C
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 情報なし
可燃性	: 燃焼しない
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 適用外
引火点	: 燃焼しない
自然発火点	: 適用外
分解温度	: 情報なし
pH	: 情報なし
動粘性率	: 適用外
溶解度	: 水に対する溶解度 : 0.02g/100g (10°C); 0.05g/100g (25°C)
n-オクタノール/水分配係数	: 情報なし
密度及び/又は相対密度	: 7.371
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし
化学的安定性	: 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 情報なし
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	: (経口)区分 2, 飲み込むと生命に危険 (経皮)データ不足のため、分類できない。 (吸入)区分 2, 吸入すると生命に危険
皮膚腐食性/刺激性	: データ不足のため、分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: データ不足のため、分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データ不足のため、分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため、分類できない。
発がん性	: データ不足のため、分類できない。 [成分データ] [ACGIH] (ヨウ化タリウム) A4(2008) : ヒト発がん性因子として分類できない
生殖毒性	: データ不足のため、分類できない。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: データ不足のため、分類できない。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
誤えん有害性	: データ不足のため、分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	: 区分 2, 水生生物に毒性 : 区分 2, 長期継続的影響によって水生生物に毒性
残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

化学品、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

	環境への放出を避けること。 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。 : 承認された廃棄物集積場で処理する。 この物質は有害廃棄物として処理する。 下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。
汚染容器及び包装	: 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

ADR/RID(陸上規則)

国連番号	: 2811
国連輸送名	: その他の毒物、固体、有機物、N.O.S. (臭化タリウム、ヨウ化タリウム)
国連分類	: 6.1
容器等級	: II
指針番号	: 154
特別規定番号	: 274

IMDG(海上規則)

国連番号	: 2811
国連輸送名	: その他の毒物、固体、有機物、N.O.S. (臭化タリウム、ヨウ化タリウム)
国連分類	: 6.1
容器等級	: II
特別規定番号	: 274
	:

IATA(航空規則)

国連番号	: 2811
国連輸送名	: その他の毒物、固体、有機物、N.O.S. (臭化タリウム、ヨウ化タリウム)
国連分類	: 6.1
容器等級	: II
危険性ラベル	: Toxic
特別規定番号	: A3, A5

国内規制

船舶安全法	: 毒物類 毒物 分類6 区分6.1
航空法	: 毒物類 毒物 分類6 区分6.1
海洋汚染物質	: 該当

使用者が構内もしくは構外の輸送または輸送手段に関連して知る必要がある、または従う必要がある特別の安全対策

MARPOL 73/78付属書II及
びIBCコードによるばら積み : バルク輸送されない。
輸送される液体物質

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 該当しない。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

第1種指定化学物質

: タリウム及びその化合物(タリウムとして)(66%)

[臭化タリウム(46%)(管理番号666); ヨウ化タリウム(54%)(管理番号666)]

労働安全衛生法 : 特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称表示危険/有害物
ヨウ化タリウム(別表第9の606(令和6年3月31日まで), 別表第9の605(令和6年4月1日施行))
名称通知危険/有害物
ヨウ化タリウム(別表第9の606(令和6年3月31日まで), 別表第9の605(令和6年4月1日施行))

消防法 : 該当しない。

大気汚染防止法 : 有害大気汚染物質

: 臭化タリウム(中環審第9次答申の114)

ヨウ化タリウム(中環審第9次答申の114)

16. その他の情報

本データシートは、商品の一般的な取扱いを主として記載しており、通常使用以外の取扱い及び、大量取扱いに関しては、考慮されていない場合があります。また、現時点での情報を記載していますが、すべての情報を網羅しているものではありません。

危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

新たな情報を入手した場合には、追加または訂正されることがあります。

記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証もなすものではありません。特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施して下さい。